ゆったり長閑な風景と重層する歴史をめぐる

JR名松線

今回の案内人、「白山道しるべの会

(写真左から)中川 利生さん、森川

正美さん、庄山 昭子さん、中谷 邦

https://hakusan0guide0blog.localinfo.jp/

(会長・今井 直毅さん)の皆さん。

治さん、楠見 茂晴さん

「白山道しるべの会」

JR「伊勢川口」駅

地の山並が美しく連なり、広がる平地と織りなす 風景は爽快です。 線の線路が通っています。 地帯。広々と続く田畑を横切るように、JR名松 津市白山町川口は、 雲出川の南側に開けた田園 川の向こうには布引山

●川口小学校

善性寺●

瀬古集会所

所要時間/約3時間30分 ※所要時間は、おおよその目安です。

それを伝える品々が数多く残されています。 一世、近代と、時代ごとに多彩な歴史物語が紡がれ この付近は、古く縄文時代から人が住み、古代

従えていたという豪族、 を守るため藩に立ち向かった農民や、鬼を家来に 宮」駅を起点とし、 歴史を語るポイントをたどるルートです。 暮らし 山道しるべの会」の皆さんのご案内で、JR「関ノ 財や歴史について学び伝える活動を続けてきた「白 今回は、10年にわたって、 多彩な古の物語に思いを馳せつつ、ゆたかな 川口の北西部をぐるりと回って 反乱を逃れてきた天皇な ふるさと白山町の文化

園風景が美しい川口北西部

「津市白山公民館(白山郷土資料館)」

至JR「伊勢奥津」駅

津市白山庁舎

JR「関ノ宮」駅

田園風景を歩きます

取材・文…堀口 裕世

田の中にぽつんと立つ東光寺へ。「ここ を分けて遥かにまっすぐ続いています。 のものが揃っていますよ」と庄山さん。 の展示品が並びます。 は檀家寺ではなく会所寺で 少し離れて田畑の中へ進むと、 り、縄文土器から近代の民具まで、多く 、。この2階に「白山郷土資料館」があ ^は線路沿いの道を「津市白山公民館 白山町の長い歴史を学び、 ·R名松線を「関ノ宮」駅で降り、 「いろいろな時代 線路から 今も地元 道は田







山郷土資料館」 由緒は古く、「白 等は不明ですが

口もここにあったもの。る、慶長4(1599)に 信仰を集めるご本尊は秘仏とされてい されています。 室町以前の作という薬師如来がお祀り に展示されてい 慶長4(1599)年の銘がある鰐 1704)に建てられたお堂には、 、野田のお薬師さん、と 元禄年間(16

東光寺の鰐口(郷土資料館蔵)

成29(20 て、ご開帳は17年に一度のみ。 17)年でした。

権力に抗 つ た先人たち

寄せた津藩最大の一揆でした。 こには、 農民が集結して約3万人が城下に押し 森 宗左衛門らのお墓や供養塔がありま 根を目当てに善性寺まで歩きます。こ 一揆の首謀者として処刑された庄屋の んは「農民の要求は通りましたが 雲出川の方向へ、 津藩が行った改革の見直しを求め、 寛政8(1796)年に起きた ひときわ大きな屋 中谷さ



START





水鬼(洪水を起こせる)・穏形鬼(身を隠持つ)・風鬼(強風を呼ぶことができる)・ 敵」の一人とされます。 どうかは不明で、『太平記』では「日本朝 時代の豪族とされていますが、 わうお寺ですが、ここの境内には、藤 ご本尊は観音菩薩立像で、 もお祀りされており、 して敵を襲うことができる)という´神 再び田園風景の中に戻り、 -方の胴塚があります。 初午祭などで賑 金鬼(堅い体を 千方は平安 薬師如来像 宝蔵寺へ。 実在か



村では、

のです」と話されます。 義民・世直し明神と彼らを密かに讃えた

を希望し、 豪勇をもって伊勢・伊賀の山地に君臨し います。 入れられず反旗を翻したと 驕りから朝廷に正二位

たれて、 見方も残っています」とのこと。 朝廷に貢献していたのに、と、同情的な のです。反逆者とされる千方ですが、 和歌により四鬼は逃げ去り、千方は討 中川さんによると「地元では、警護などで 的な要素も魅力となり、 朝敵征伐に名乗りを上げた紀 友雄の 朝廷に刃向かうトリックスター ここに胴体が残されたという 伝説は白山 四鬼を

> にもなっています。 や伊賀市など広く分布し、 浄瑠璃など

> > 廃高田寺の十一面観音立像※

再発見の観音様

まで、 なかったんです」と楠見さん。 文化財ですが、「平成元(1989)年の ます。この観音像は、今は国指定重要 調査で平安時代初期の作と判定される 座像と十一面観音立像が安置されてい し曲げて踏み出すお姿も、『十一面観世 名松線の踏切を越えて「瀬古集会所. ここは廃寺となった高田寺の跡地 中には仏間が設けられ、 地元でもその価値は知られてい 右膝を少 薬師如来

境内跡からは、鎌倉時代以前の水晶製の 音神呪経』に即しての珍しい形とのこと。 仏舎利塔なども発見されています。

15号に添って医王寺へと向かいます。 ここから川口小学校の前を通り、県道

重層する歴史の物語

12(740)年に、聖武天皇が藤原 ある「河口頓宮」跡といわれます。 出ます。この上にある医王寺は曹洞宗 趣を変え、木々に囲まれた小高い丘に の古刹ですが、この地は、『続日本紀』に 県道を南に逸れると、風景は大きく 広嗣 天平

> 石碑や、天皇の行幸に同行した大伴に登る細道には「聖武天皇関宮宮阯」 頓宮を「関宮」とも呼んだとのことで、丘 日間ここに滞在されたと記されていま の乱を避けて都から伊勢国に向か 持の歌碑などもあります。 当時この付近に関所があり、 この 家まの

斎宮が都へ帰る道であったとされ、 伊賀に抜けるルー 地の一つでもあります。 れたということで、医王寺はその推定 口の地は、 また、『延喜式』などによると、 かつて斎宮の頓宮が設営さ トは、 天皇崩御の際、 川口を通って この川

> 廷と深い縁のあった土地なのです。 艮朝までは往路でもあったそうで、

呼ばれ、土塁などが残っています。 りました」と中川さん。「川口城跡」とも 信長に滅ぼされた北畠家の山城でもあ そしてまた「ここは戦国時代、

宮」駅はすぐ目の前です。 怠ください。 本数が少ないので、 らせながら県道に戻れば、JR「関ノ 重なり響き合う歴史物語に思いを巡 時間配分にはご注 JR名松線は

津市白山総合支所 Ē 059 2 6 2 地域振興課





天皇関宮宮阯 | の碑

大伴 家持の歌碑

※印の写真は取材先から提供していただきました